



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp

お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会) 平成29年7月31日～8月2日 本願寺(西本願寺)・滋賀県



参加者全員での集合写真



長照寺よりの参加者

「信心を得たなら、念仏の仲間
荒々しくものを言う事もなくなり
心もおだやかになるはずである」

(蓮如上人御一代記聞書末)

第25代專如ご門主様伝灯奉告法要円成



住職 本持 愚山

長照寺だより37号でお伝え致しました通り昨年10月1日より始まりました「第25代專如門主伝灯奉告法要」が今年5月31日まで80座のご法要が勤められ無事に終えられました。

長照寺門信徒会も10月6日のご法要に参拝させて頂きました事はご存じの通りです。そしてこのご法要を通じまして、ご門主様より「念仏者の生き方とは」のお言葉を頂きました。そこで改めて私達もこのお心を考えてみました時、現代社会に生かされている者の一人として大変僣越ではあります。諸問題を共有させて頂きますと、まず近隣諸国の関係、安全保障問題、人権抑圧の差別問題、憲法改正問題、核物質拡散について等々、挙げたらきりが無いほどの問題を抱えています。この様な問題もさる事乍ら、私を取り巻く日々の

生活の中には思い通りにならない事柄として、人間関係構築の難しさから起こる不満、何故自分を理解してもらえないのかと言う人間不信、ついつい他人と比べる経済格差等々。

ご門主様はお示しく下さいました。これら人々が抱える問題、人として生きて行く多くの問題の原因は「無明煩惱」にあります。お釈迦様の教え「仏教」は、この煩惱を無くし悟りを得ようと生き抜く教えですが、はたして無くす事ができるでしょうか。「煩惱」とは、「あれが欲しい、これが欲しい、こうなってもらいたいと言う欲の心」「望みが叶わないと腹を立ててしまう心」そして「愚痴や後悔する心」です。前述の如くこの心を無くす事は出来ません。

此の度ご法要参拝を通じて再び阿弥陀様の

お心に触れさせて頂きます時、私のとらわれや、様々な欲望の世界から抜ける事のできない私を、そのまま救って下さると言う願いの中に私の言動、行動の無力さを知らされた事です。このように大変尊い法要に遇わせて頂いた今、自分本位に生きてきた私から、言行を慎み、ほんの僅かでも煩惱を減らす努力が必要ではと気付かされた事です。

従いまして、お念仏は阿弥陀様のお心を頂戴し、有難うとご返事申し上げ、称えさせて頂く事ができる我が身と知らされたところで、人の喜びを自分の喜びとし、人の悲しみを自分の悲しみとして、一緒に涙する事のできる生き方こそ、お念仏を喜ぶ者の人生と歩んで行きたいものです。

称名



第25代專如ご門主様伝灯奉告法要の
ロゴマークとスローガン

お寺の林間学校

(南ブロック門徒子弟研修会)

六年 松崎 花奈



門徒 松崎 花奈

私は、本がん寺ヒキャンプフroiマードバ
 スの中のでき事が一番の思い出です。
 まず本がん寺では、ゲームをして始めてあ
 った子と仲よくなれてよかったです。本がん寺
 のいろんなことが知れてとっても楽しく学べ
 たからです。
 そしてキャンプフroiマードバは、歌ったり
 みんなでおどったりしてとっても楽しかった
 です。
 最後に、バスの中のでき事では右と左でバ
 トルして仲よくなったり近くの知らない子と
 仲よくなりました。とてもよかったです。
 そしてとなりの席のごとうくとラムちゃん
 (かんごしさと)とても仲よくなりました。
 私はりんかん学校に行っていることは、
 知らない子といっしょにあそんだりするの
 もいいことだと思いました。これからこの
 ようなことをしていけたらいいと思います。



門徒 坂本 亜莉奈

私は、お寺の林間学校に行きました。とても楽しかったです。友達と遊んだり、歌ったり、ダンスしたり、とても楽しかったです。お寺の環境もとても綺麗で、自然がいっぱいあります。お寺の僧侶の方にも優しく話を聞かせていただきました。これからもお寺の林間学校に行きたいです。

●平成二十九年七月三十一日〜八月二日
 ●本願寺(西本願寺)・滋賀県近江八幡市

活動報告

平成二十九年度上期

恵みのお参り(祝入園・入学慶讃法要)

平成二十九年四月二日

服部 穂積(ほづみ)君
伊藤 歌音(かのん)ちゃん
久原 真子(まこ)ちゃん



穂積くん、歌音ちゃん



真子ちゃん

花まつり「お釈迦様の誕生日」

平成二十九年四月二日

…五〇余名

お参り後、パフォーマーの「なつきー」さんによるアトラクションを楽しみました。



第四十五回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十九年四月二十日…新沼津カントリークラブ

優勝 甲野藤 茂さん
準優勝 新井 香さん
第3位 佐藤 英紀さん



静岡東組組会・総代研修会

平成二十九年四月二十七日

…寶専寺(伊東市)



東京教区仏教壮年会研修会

平成二十九年五月十三日

…築地本願寺



先輩方を敬いながら、若い方とも共生(ともいき)の強化団体です。

門信徒会定期総会

平成二十九年五月二十日

…五〇余名

おかげ様で、各議案ともご承認いただきました。



第十二回門信徒会親睦ボウリング大会

平成二十九年六月十一日：ジョイランドボウルみしま

優勝 杉澤 英則さん
準優勝 久原 誠仁さん
第3位 中村 隼人さん

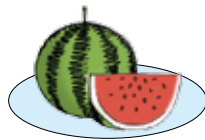


境内清掃作業・親睦懇親会

平成二十九年七月二十三日

：一〇〇余名

作業終了後の
スイカの味は
格別でした。



お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）

平成二十九年七月三十一日～八月二日

：本願寺（西本願寺）・滋賀

静岡・神奈川・山梨県内の小学校3年生～中学校3年生が集まり、
本願寺（西本願寺）参拝・キャンプファイア・ゲーム等を行いました。

※写真は表紙、8ページに掲載

合同盆法要（全八回）

平成二十九年八月十三～十五日
：約二〇〇家族（約五五〇名）

ご先祖様曰く

「皆が元気でうれしいよ。

これからも頑張って

楽しく生きてほしいな・・・」



第二十二回全国仏教壮年東北大会

平成二十九年七月二日～三日

：トークネットホール仙台（仙台市民会館）

※写真は7ページに掲載



秋季彼岸会法要

平成二十九年九月二十三日

：一〇〇余名

ご講師 毛利 孔晶 師



今後の活動予定

平成29年

10月28日(土)	門信徒のつどい	TMO ホール (三島商工会議所)
10月31日(火)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	富士エースゴルフ倶楽部
11月7日～9日	門信徒会親睦研修旅行	築地本願寺他
11月19日(日)	長照寺報恩講	本 堂
12月3日(日)	境内清掃作業	境 内
12月31日(日)	除夜会	本 堂

平成30年

1月4日(木)	修正会・新年会	本 堂
1月12～13日	ご正忌報恩講	西本願寺
2月未定	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	未 定
3月21日(水)	春季彼岸会法要	本 堂
4月8日(日)	寺報第39号発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちの軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)

第二十五代専如門主伝灯奉告法要記念 本願寺派スカウト大会 in 本願寺

●平成二十九年八月四日～六日
 ●本願寺(西本願寺)・本願寺山科別院

第二十五代専如門主伝灯奉告法要記念として、「本願寺派スカウト大会」が『うけつぐ伝灯 伝えるよろこび 深めよう 仲間とスカウトの絆』を大会テーマのもと開催されました。

浄土真宗のみ教えを活動の基本とする、全国の本願寺派スカウト(ボーイスカウト・ガールスカウト)が一堂に集い(約四〇〇名)、様々な活動をとおり仲間と出会い、語り合い、いま仏法に出遇わせていただいていること共に喜んでまいりました。

この大会に、当寺住職・副住職・衆徒、ご門徒数名が参加をしております。



第22回全国仏教壮年東北大会

平成29年7月2日～3日 仙台市民会館



長照寺仏教壮年会

会長 齋藤 善治

今回の開催場所は仙台市、市の海岸地域は6年前の東日本大震災で大きな被害を受けたところです。

会場のある市街では全くその影響を感じることは有りませんが、被災地では復興に向けてまだ多くの方が頑張っています。そのような東北の朋友に会いに行こうと全国に呼びかけたのがこの会議のテーマでした。

私の実家は山形県の東根市で、仙台とは関山峠を挟んで隣の街になっており馴染みの場所なのです。震災後2度被災地を訪問していますが私の心にも重たく残っていました。

記念講演では、実際に被災した宮城組専能寺の住職 足利一之師が体験談をお話しされましたが当時の苦勞がよく伝わってきました。自坊が津波で被害を受け瓦礫が散乱していたそうですが、それに気をとられている暇もなく、亡くなってしまうた方やその家族への対応に全力を注ぐ毎日だったとのこと。しかし、瓦礫の整理や寺の片づけはボランティアの方達がどんどん進めてくれて、多くの人たちに助けられて今日までやってきたとのこと。

阿弥陀如来は、私たちにどんなことがあっても必ず救うよと呼びかけて下さっているといいますが、そのはたらきのお蔭であると感謝していますとお話しされました。私たちの身の回りに何が起こるかわかりませんが、撰取不捨の仏様にいつも見守られていることは真に心強いことです。

今回の大会は、ご門主様のご臨席もあつて、千人を超える大きな大会でありました。

静岡東組でも現組長、元組長以下9名で参加しました。仏教壮年会は宗派の教化団体としては大きな組織であり、各寺院の中にあつても、その影響力に期待を寄せる雰囲気があるのではないかと感じました。

仏教壮年会連盟発足当時は、仏教壮年会を有する寺の数が少なく先ずは加盟寺院数を増やす活動からスタートしました。その結果寺院数も増加してきましたが、具体的活動の内容をどのようにするかが大きな課題でした。宗教に対する期待感が薄れて寺院離れが問題となつているなかで仏教壮年会は何を為すべきかを皆で考えてきました。今回、宮南理事長から話があつたのは、「浄土真宗の生活信条を宗とする生活の実践奨励」であります。生活信条に示された4本の柱を率先して、文字どおり強く明るく生き抜きたいものです。

門徒として当たり前のことを当たり前に実践して阿弥陀仏の「救い」を頂戴し、仏恩報謝のお念仏を申すばかりです。

私は、本年3月で東京教区の仏教壮年会委員を満了して、後任の藤澤 博さんにバトンタッチしました。今後とも仏教壮年会の活動にご協力をお願い致します。

合掌



お寺の林間学校（南ブロック門徒子弟研修会）2017/7.31-8.2



編 集 後 記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成30年4月8日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人 = 長島・菊沢・斎藤・園田

